

出会いを大切にしよう

校長 輿水秀志



春の息吹を感じる好季節となりました。そして巨摩高だよりも今年度最後の6回目の発行の時期となりました。年間を通して、お忙しい中をお読みいただきましてありがとうございます。

また、巨摩高校の保護者や同窓会、地域の皆様、中学校や大学をはじめ多くの皆様には巨摩高校のために「理解やご支援をいただきまして厚くお礼申し上げます。

さて、3月から4月にかけては、季節の移り変わりとともに、別れと出会いの季節でもあります。

3月1日には卒業証書授与式が行われ、文武にわたり大きな成果を挙げた3年生諸君は別れを惜しみつつ、思い出がたくさん詰まっている学舎を去って行きました。

4月8日には、夢と希望に満ちあふれた新入生が入学してきます。

このように、本校でも別れと出会いの季節が続きますが、人間はさまざまな出会いと別れをくり返し、大きく成長していくのだと思います。

人との出会いには、家族との出会い、

先生方との出会い、友達との出会い、身近な人々との出会いなどさまざまな出会いがありますが、いろいろな人との出会いを通して、さまざまな点を学んだり、心が充実したり、新しい自分を発見することもできます。

私も巨摩高校生と出会うことにより、若さとエネルギーを与えていただいたり、生徒たちのさまざまな良さを学ぶことができました。まさに「我以外皆我師」です。

本校には、職員・生徒併せて約800人がおります。毎年この巨摩高校で、それぞれが少なくとも800人の人々との出会いをしていることになりました。それは世界中や日本中の高校生との総数から考えますと奇跡的ともいえる出会いになります。運命的な絆で結ばれた縁と言っても過言ではないと思います。

それだけに、お互いに巨摩高校での出会いを始めさまざまな人との出会いを大切にしたいものです。

これからは、常に「二期会」の気持ちで人との出会いを大切にしていきたいです。

1年生のスキー教室が、長野県の北志賀竜王スキーパークにおいて、2月9日・10日の1泊2日で行われました。開講式の後、早速実習班に分かれ、インストラクターの先生の指導のもと、楽しみながら技術を習得することができました。また、スキーの技術が向上しただけでなく、新たな友人関係が生まれたり、クラスの仲間との絆が深まったりと、とても有意義な2日間となりました。

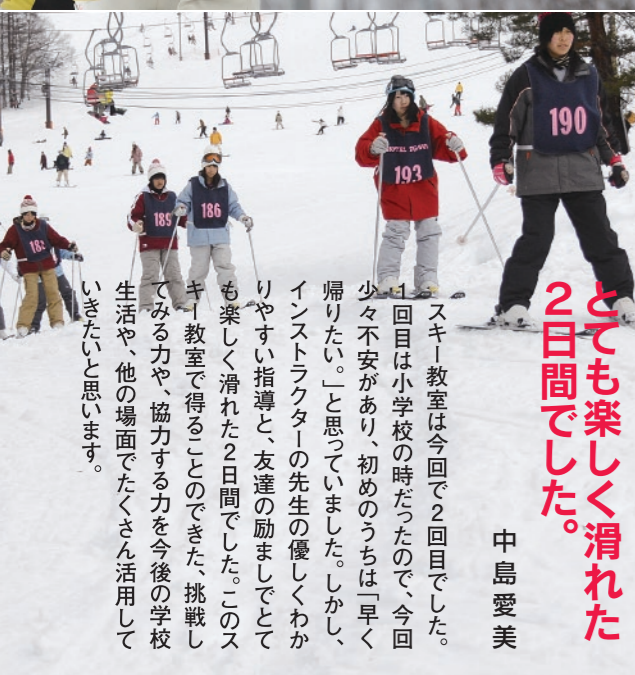
挑戦してみよう 得る力や、協力する力が とができた2日間。 スキー教室

本当に充実した
スキー教室だった。

佐藤仁人

この1泊2日のスキー教室で、スキーの技術も友達との絆もより深まった。1日目は久しぶりのスキーで大変だったが、滑れるようになった。2日目は高い所にチャレンジした。ここでも滑れた。インストラクターの先生の指導が良かった、と改めて思った。宿では友達とたくさん話をし、クラスの時間も楽しめた。本当に充実したスキー教室だった。

この経験を無駄にしないで修学旅行に生かせるよう頑張っていきたい。



とても楽しく滑れた
2日間でした。

中島愛美

スキー教室は今回で2回目でした。1回目は小学校の時だったので、今回少々不安があり、初めのうちは「早く帰りたい。」と思っていました。しかし、インストラクターの先生の優しくわかりやすい指導と、友達の励ましでとても楽しく滑れた2日間でした。このスキー教室で得ることができた、挑戦してみよう、協力する力を今後の学校生活や、他の場面でたくさん活用していきたいと思っています。

巨摩高にゆーす

文化局各部の練習の成果を披露する、年に一度の祭典「巨摩フェスタ'10」開催

2月6日(土)南アルプス市櫛形生涯学習センターにおいて、文化部合同発表会「巨摩フェスタ'10」が開催され、各部が日頃の活動の成果を披露しました。オープニングセレモニーでの、若草中生徒との共演による和太鼓演奏に続き、箏曲部、音楽部、吹奏楽部の発表がありました。玄関ホールには美術部、写真部の作品が展示され、自然科学部は展示の他に搾油機を使った油搾り体験も行いました。また、茶道部による呈茶と家庭クラブによる手作りお菓子の配布もあり、多くの生徒や保護者、地域の方々が足を運んでくれました。招待した特別養護老人ホームのお年寄りにも楽しんでいただき、盛況のうちに終わることができました。



文武にわたり、大いなる軌跡を残して 巣立った233名。

第62回卒業証書授与式



穏やかな日差しに春らしさを感じられた3月1日、第62回卒業証書授与式が行われました。来賓の方々や保護者の皆様をはじめ多くの人たちに祝福され、それぞれの思い出を胸に、233名の卒業生が巨摩高校を巣立っていきました。